

【大阪府公共事業における】景観アドバイス対応報告シート

記入日	2025/9/8			
記入者	所属	公共建築室 住宅建築課		
	担当者名		連絡先（内線）	
事業名称	大阪府営大阪狭山西山台住宅建替事業			
景観アドバイザー会議の実施状況	実施の有無	あり（希望）	第1回	2024/11/19
	第2回	2026/2/13	第3回	2期実施設計時

項目	アドバイザーからの意見	アドバイスへの対応		
配置計画について	第1回アドバイス部会での意見			
	近隣のURが徹底的に並行配置されていたのに対して、大阪府は囲い込みで、それぞれどのような住空間を作ったらいいか居住空間を提供しようかって一生懸命考えられている。ぜひ、そういった団地を建て替えるのであれば、彼らに負けないようにいろいろな工夫してほしい。	対応状況	対応済み	
		公営住宅法の建替えを行うにあたり建設戸数の確保が必要である。日影規制や住棟間隔の制限を満たした上で、良好な住環境とするため東西軸（南向きバルコニー）を意識して配置とした。		
	この高低差があることが地域の風景にとっていいのか、どうなのかということはよく考えられた方がいいかな	対応状況	対応済み	
		1期計画では南北方向の高低差を意識。南側道路との擁壁について、撤去を行い、緩やかな出入口とすることで、周辺地域との空間連続性を確保。また、現状敷地についても切土を行い、レベルを下げて建設することで中層から高層となった府営住宅による圧迫感を少なくするよう配慮。		
		対応状況	検討中	
2期計画では、東西方向での高低差を意識。市道今熊大野線と府営住宅間の大規模法面について、勾配を緩やかになるように敷地をセットバックする方向で造成。あくまでも最低限の造成とすることで、土地の高低差の歴史を残すよう配慮。				
この配置計画はちょっと乱暴。高低差は、当然BFの観点からはない方が良いが、許容される範囲で、この地域の風景を維持するなど新しく良さを引き出すということは、伝える要素かとも思う。もう少し、お考えいただくか、考えた結果がこれで、ちゃんとこれコンターとか入れると、なるほどこういう計画になるよなというようなものなのかをお示しいただければ良い。	対応状況	対応済み		
	法面の勾配を緩やかにしつつ、府営住宅敷地と周辺地域との高低差が残る最低限の造成とする。また、府営住宅敷地内は出来る限り高低差を少なくすることでBFに配慮。			

* * * * * *	第〇回アドバイザー会議での意見	
		対応状況
		対応状況
	第〇回アドバイザー会議での意見	
		対応状況